



むつみ荘だより



2025年12月 第332号



医療法人社団 なごみ会 老人保健施設 あさぎりむつみ荘
〒673-0852 明石市朝霧台 1120-4 TEL (078)911-0623
なごみ会ホームページ <http://www.nagomikai.or.jp/>

厚労省 介護保険見直し議論 本格化 試算公表

・・・**2割負担**の対象拡大 & **年収引き下げ** 4案提示

& 増額 **月7000円上限**も検討・・・

医療法人 なごみ会
理事長 横山 光昭

2027年度の介護保険制度の見直しに向けて、厚労省の専門家部会で議論が本格化しています。焦点は**利用料の2割を負担する人の対象拡大**です。2割負担の所得基準は単身世帯で280万円以上だが、230万～260万円の範囲にある人を四段階とする案を公表しました。(図1)



高齢化で介護費用が増える中、対象拡大を求める意見がある一方、物価高が続くなか負担増は避けるべきだとする慎重論もある。

介護保険サービスの**利用者負担は原則1割**。「**現役並みの所得**」のある人は**3割**、「**一定以上の所得**」のある

人は**2割**となっています。2割負担となる「**一定以上の所得**」の基準は、**65歳以上の被保険者の所得上位20%を念頭に設定**。単身世帯なら年金収入などが年280万円以上、夫婦世帯なら346万円以上としています。今回、厚労省はこの基準を**所得上位約25～30%の範囲に引き下げる考え方**を示しました。具体的には**単身世帯で260万円・250万円・240万円・230万円の四案を試算し公表**しました。

2割負担対象は現在33万5千人だが、今回の案だと約13万～35万人増えます。処が **新たに2割負担の対象になると、最大で月2万2千円負担が増えるため、当面の間負担増の上限を月7千円までとする。**この場合、介護給付費が約80億～210億円削減されるという。

一方、**預貯金や有価証券などが一定額以下なら1割負担に戻す配慮措置案**も示しました。複数の試算があり、預貯金などが単身世帯で500万円以下、夫婦2人世帯で1500万円以下とした場合、約5万～17万人が1割に戻り、約8万～19万人が新たに2割負担になると試算しています。預貯金額は、利用者が自治体に通帳コピーを提出申告し、自治体側で確認する自己申告制とする。自治体が必要に応じて金融機関に照会する。不正があれば、加算金を徴収するとしています。

2割負担の対象拡大は24年度の介護報酬改定に向けた議論の中でも検討されましたが、負担増への反発があり、3度にわたり結論が先送りされています。負担の見直しの背景には、介護費用と保険料の増加があります。介護保険総費用は、制度ができた00年度から約4倍の14.3兆円(25年度予算ベース)に増えた。65歳以上が払う1号保険料の全国平均は6225円(25年度)、40～64歳が払う2号保険料も6202円(25年度見込み額)と、それぞれ約2倍、約3倍に増えました。

一方、**介護現場では人手不足が続く。介護職員の平均賃金は全産業平均と比べ月8.3万円低く、他産業への人材流出につながっている**とされる。処遇改善のため、**公定価格である介護報酬を引き上げると、利用者の負担増や保険料の更なる上昇は避けられない。**

こうした状況を受け、6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)」で利用者負担の見直しについて「25年末までに結論が得られるよう検討する」と位置づけました。負担の見直しについては、厚労省の専門家部会で9月から議論が始まった。2割負担の対象見直しのほか、現在は利用者負担がないケアプラン(利用する介護サービスの計画)の有料化についても議題となっています。

11月20日の部会では、**厚労省が2割負担の所得基準を引き下げたうえで、①負担額の上限を設ける ②預貯金が少ない人は1割負担を維持するという考え方を示した。③ケアプランの有料化については、幅広い利用者に負担を求める他、住宅型有料老人ホーム入居者にも負担を求める**といった複数の考え方を示しています。

将来的には2号被保険者を30歳以上に拡大する案も

介護保険制度は 少子高齢化の影響を受け 介護保険サービス利用者が増え続けるため 破綻寸前がいられています。高齢者のみによる応能負担にも限界があり、厚労省は介護サービス利用時の自己負担額1割から2割になる層の拡大に向け、**2割負担の所得基準を4段階に変えた場合**の試算を公表しました。

その他 月額負担の増加を最大7千円に抑える案や、預貯金が一定額以下の人を1割負担に据え置く案も検討中であるが、いくら配慮策があっても物価高の中で自己負担が増えることには 変わりがない。

病院であれば病気や怪我をした場合のみの支払いが、介護に於いてはサービスを利用し続けるかぎり、数年から数十年も払い続ける必要があります。「介護の社会化」を目指し始まった介護保険制度も、高齢者の負担割合が増え、サービスを利用しづらくなれば、結局面倒を見るのは、家族（息子・娘等）が離職してまで介護する必要がある。「制度あってもサービス無しになるのでは？」という現場の声もあります。根本的な存続のためには、2号被保険者を30歳以上に拡大する案も上がるが、そうすると政権政党（与党）は猛反発を受け大打撃を受けるとの声もあり、今後どうなっていくのか注視していきたい。AIに質問すると、2号被保険者（現在40歳以上）の年齢を一度に30歳まで下げずに数年かけて年齢別（30歳～39歳）に段階的に引き上げる方法を推奨しています。

体重も 腹囲も年も友も増え

もの忘れしたのを忘れる もの忘れ

夏忘れ 少し寒いと もう愚痴が

更新はしても 運転ダメと言われ

「飲んだの？」薬 確認 愛言葉

令和7年 小 雪



サンエイ薬局の「健康メモ」

カサカサ肌を予防しよう！！

加齢とともに皮脂が減少することでカサカサ肌になり、皮膚のバリア機能が低下し、ちょっとした刺激がきっかけで炎症を起こし痒みなどを引き起こします。掻くと角質層を傷つけ、肌のバリア機能がさらに低下し症状が悪化します。予防には肌の保湿が大切です。入浴後の皮膚がまだ湿っている間に、保湿剤をなるべく早めに塗ると効果的です。保湿剤は強く擦り込むのではなく、たっぷりの量を優しくまんべんなく塗るようにします。皮膚は敏感になっているため、強くこすると刺激になるので指の腹でそっと塗り広げましょう。



お薬や健康に関する様々な相談に応じます、お気軽にお立ちよりください！

 **サンエイ薬局**

<http://sanei-pharmacy.com/>

本店 あさぎり病院北側

〒673-0852

明石市朝霧台1147-18

TEL 078-913-8585

明石市保健福祉施設協会主催

第8回 介護の日 記念式典

& 優良介護職員表彰

・・・未然に防ぐ 事故防止対策を 高く評価・・・

理事長 横山 光昭

11月12日 明石医師会館で 第8回 明石市保健福祉施設協会主催の「介護の日」記念式典が開催されました。開会に先立ち 横山 光昭 副会長より 11月11日を「いい日いい日（介護の日）」、11月30日は「いい見知り」「いい看取られ（人生会議）」の日と謂われる設立説明があり、その後 優良介護職員表彰において 北野 絵美ケアワーカーが受賞者として 小松 達也会長より表彰されました。長年、施設サービス課で 虚弱要援護高齢者に 心のこもった介護&認知症研修取得に伴う職員への伝達講習会を行ったことが評価されました。

記念式典後、(株)安全な介護 代表取締役 山田滋氏による『15の事例に学ぶ事故の再発防止策』という演題で記念講演会が行われ、50名の聴講者が集まりました。実際に介護入所施設でのリスク（誤嚥・転倒・誤食・誤薬・洗剤等の異物摂取、入浴介助で火傷・死傷事故）等のヒューマンエラーの実例15を挙げて訴訟判例を元に、原因と対策を考える非常に有意義な講演内容であった。介護現場の職員に最適で具体的な事例研修となり、施設に持ち帰り伝達講習を行い事故防止に努めて貰いたいものです。

優良職員表彰 & 記念講演会に出席して

施設サービス課 北野 絵美

優良介護職員の授賞式があり、施設を代表して表彰して頂きました。あさぎりむつみ荘に長く勤める事ができたのは、他の職員に助けをもらいながら 楽しく仕事をする事が出来たからだと思っています。これからも利用者や職員の方々に感謝の気持ちを持って、介護に携わりながら少しでも長く勤める事が出来ればと思っています。





介護事故 再発防止策の 講義

記念講演会として **「安全な介護 山田 滋氏による『15 の事例に学ぶ事故の再発防止策』** という**演題**で講演がありました。損保会社勤務時に、高齢者福祉施設や訪問介護事業者と一緒に取り組み、現場で積み上げた実践に基づくリスクマネジメントの方法論を取得され、**非常にわかりやすく実践的な講義内容**でした。事故が起きた時に訴えられた事例を挙げて**原因と再発防止策を講義され、介護職として未然に出来る対策を学ぶ事**が出来ました。また防ぐ事が出来ない**不測事故が起きた時の為に 家族にも十分に分かりやすく説明して理解を求める事が大事**だと話もありました。

今後も明石市保健福祉施設協会への参画を通じて、より良い介護社会の実現に寄与していきたいと強く感じました。貴重な講演会参加ありがとうございました。

働いて 働いて 麦を食う

確かにね 流行っていたよ 昭和では

「働いて」 ある日 起きたら「戦って」

サプリより 特効薬の ドッコイショ

令和7年 師 走

インフォメーション

むつみ荘 行事予定

| | |
|-----------------------|------|
| 4日(日) 誕生会 | <入所> |
| 8日(木) 音楽療法 | <入所> |
| 15日(木) 音楽療法 | <入所> |
| 27日(火) 音楽療法 | <通所> |
| 28日(水) ビデオ鑑賞会 | <入所> |
| 19日(月) ~ 24日(土) 誕生日週間 | <通所> |



こころ 行事予定

| |
|--------------------|
| 8日(木) 音楽療法 |
| 12日(月) フラワーアレンジメント |
| 14日(水) おやつクッキング |
| 15日(木) 音楽療法 |
| 20日(火) フラワーアレンジメント |
| 22日(木) おやつクッキング |

研修レポート



2週間の**実習**を終えて

・・・現場体験で **学んだこと**・・・

兵庫歯科医師会附属 兵庫歯科衛生士学院

私達は アットホームで 経験豊かなスタッフの方々に囲まれた老健施設で 約 1 か月間 (前半 11 月 4 日～17 日 後半 20 日～12 月 4 日) の現場実習を通じて **たくさんの事を研修・体験**させていただきました。**普段高齢者の方々と話す機会がなく、初日は うまく会話ができませんでした。何を話していいのかわからず また どのように接したらいいのかわ戸惑い**ました。しかし、傍で 職員の接し方を見たり、カルテに記載された病態や趣味・性格等を理解し、話をさせていただくと 好意的に接してくださいました。目線を合わせて **ゆっくりと大きな声で話したり、話に耳を傾けたり また 会話が難しい場合はジェスチャーを交えた非言語のコミュニケーションを取る**など、一人ひとりに合わせて話をすることが出来ました。一緒に折り紙やあやとり等を行い 笑顔を見る事ができ楽しく過ごせました。



小集団で行なった嚥下体操・パタカラ体操、口腔ケア (口腔衛生管理) 等を行いました。特に 口腔ケアは毎日、2 名ずつ担当させてもらいました。最初の口腔内の状態と比べると、**日を重ねるごとに清潔となり改善されていくのを実感**しました。処が 口腔ケアを「どう思われているのか」とか「理解されているのか」がわからず悩んでいました。ケア後に「**スッキリした**」や「**ありがとう**」と言ってくれることが増え、**次第にやりがいを感じられるよう**になりました。また 口腔ケアには口臭や全身感染予防効果もあります。

発表会で唾液腺マッサージ・嚥下体操を行いました。どのように伝えると理解してもらえるか 試行錯誤しながら練習してきました。本番で利用者の方々が積極的に参加してください、楽しく集団指導ができました。**伝えることの難しさを実感し、工夫して伝わったときの喜びや達成感を得る**ことが出来ました。

各 2 週間という短い間でしたが、**現場実習で学んだ コミュニケーション能力や口腔衛生管理の手技**を**今後の就職先で是非活かし、一人ひとりの大切な歯を守れるよう頑張ります**。利用者の方々とおわかれするのが寂しく感じるほど楽しい時間を過ごせました。本当にありがとうございました。

歯と心 **メンテナンスが 大事だね**

この齢で **生きていくには 慾もいる**

令和 7 年 大 雪



う



へ



ただいま授業中!!



なるほど



メリークリスマス!



簡単やなあ!



11月

誕生会

・・・**団扇**で仰いで落としましょう競争 **ラスト5秒**が勝負・・・

施設サービス課 小原 亜希子

2日に誕生会を開催。11月は和風名で「霜月」と謂われ、霜が降りる頃。本来ならば晩秋から初冬に移行する季節。処が今年夏が異常に長く、秋を感じる事がなくいつ迄も暑い日が続き、四季を感じられなくなっています。

多目的ホールに集まり、ラジオ体操・四肢の屈伸運動を行い、鈍った身をほぐしました。今回は「**団扇で仰いで落としましょう**」ゲームを行いました。ルールは テーブルの上に並べた紙コップを 10秒間 団扇で仰いで何個落とせるか競うゲーム。1対1の対決で行いました。「**ガンバレ!**」「**負けてるで!**」等の周囲の声援や応援合戦が繰り広げられました。結果は1位9点 徳永さま・竹田さま、2位は 8点阪本さま・片岡さま・八十島さま・河原さまでした。手に汗を握るほど、非常に白熱したゲームとなりました。

快い汗を流された後、誕生会を開催。誕生者は以下の6名です。

| | | | | | |
|-----------|---------|-----|----------|---------|-----|
| 藤岡 紀美子 さま | 昭和 5年生 | 95歳 | 沖津 ミチ子さま | 昭和 5年生 | 95歳 |
| 井上 きよ江 さま | 昭和 6年生 | 94歳 | 赤松 澄子 さま | 昭和 9年生 | 91歳 |
| 八十島 千榮子さま | 昭和 11年生 | 89歳 | 河原 多加子さま | 昭和 18年生 | 82歳 |

**お誕生日
おめでとうございます!**



花束を贈呈し記念撮影を行い、全員でハッピーバースデーを歌いました。その後はお楽しみ喫茶タイム。ケーキと紅茶でお祝いし、和気藹々と雑談をしながら笑顔が零れていました。思い出のPHOTを掲載します。

今日という 再び来ない 日を生きる

目覚めたら 今日も生きてる ありがとう

実年齢 忘れて生きて 今日元気

令和7年 立 冬



ドキドキするね!



うまくいくかな?



ガンバレ! 負けるな!



よーし、がんばるぞ!





#

あかねが丘 リコーダーサークル 慰問

～童謡唱歌や懐かしい楽曲を口ずさんで～



施設サービス課 首藤 珠佐

短い秋も終わり 一気に気温も下がり冬将軍が到来。寒冷と乾燥を好むインフルエンザが大流行し市内も学級閉鎖が多発。虚弱高齢者に携わる者として感染対策に注意が必要な季節。万全の感染予防対策を遵守しながら、11月18日あかねが丘リコーダサークル(代表岸本 直子さま)の有志21名が慰問し、素晴らしい音色を奏でてくれました。

演奏の始まる前から楽しみにされていました。オープニング曲「夕焼け小焼け」からスタート。続いて「里の秋」「瀬戸の花嫁」「ブルーライト横浜」が連続演奏。演奏が始まると真剣に聴いておられる方もいれば、指揮者の真似をしている方もいました。続いて「幸せなら手をたたこう」の楽曲に合わせて歌いながら手足を動かしておられました。次に「若者たち」「BELIEVE (ビリーブ)」が連続演奏されました。みなさま一緒に大きな声で歌っており、素敵な笑顔を見せていただきました。続いて 長谷ゆかり先生のフルートで「恋は水色」が演奏され、澄み渡った音色を鑑賞され、とてもきれいな音に心が癒されました。続いて「星影のワルツ」「ふるさと」が演奏され、惜しみない拍手が送られました。最後にアンコール曲を演奏していただきお開きになりました。

感想を聞くと「最高！楽しかった」「懐かしく よかった」「フルートに癒されました」等々を嬉しそうに話して下さいました。思い出に残る楽しい演奏会のPHOTを掲載します。

米足りぬ ドングリ足りぬ 自然界

あ～寒い 今年の秋は 10日だけ

令和7年 晩 秋



楽しいね!



懐かしい!



きれいな音色!





★季節性インフルエンザに罹り易いタイプ

生活習慣や 既往歴から分析 発症リスクが3.6倍 上昇

ワクチン接種には 発症予防 & 重症化予防 & 集団免疫効果

日本を含む北半球全域で **Influ. A 型 H3N2 亜型の新変異株「K 亜系統」**が大流行。弘前大学や大正製薬が約 1000 人の生活習慣や既往歴など 3000 項目以上の健康データを解析し、**季節性 Influenza に罹り易い 5 タイプ**が判明。「**血糖が高め**」「**肺炎にかかったことがある**」「**睡眠不足**」「**栄養不良**」「**アレルギーがある**」で、特に「**肺炎の既往歴、血糖が高めで、睡眠の質が良くない**」人は、**発症リスクが約 3.6 倍上昇**する。5 つのうち、いずれかに当てはまる人は通常の感染対策に加え、血糖を急に上げない食べ方をする等、それぞれのタイプに応じた対策を取るよう呼び掛けている。

インフル. ワクチンは、**毎年流行の予測に基づいたウイルス株（今期はA型2種・B型1種）を不活性化または弱毒化したものから製造**されます。流行するウイルス株は 毎年変わる可能性があり、毎年予防接種が必要とされますが、**接種によりウイルスに対する免疫（抗体）を獲得して「発症予防」と「重症化予防」に役立ちます。ワクチンを接種してもインフル. に罹る可能性はありますが、罹患時の症状を緩和して重症化リスクを軽減**します。

接種後 2 週間で抗体が発現し、その効果は不活性ワクチンで約 5 カ月、弱毒化生ワクチンで約 6 か月～1 年持続。例えばインフル罹患後に接種しても、他のウイルス株（変異株を含む）インフル. に対する発症予防と重症化予防の効果が十分に期待できます。**ワクチンには多くの人々が接種することによる集団免疫効果**もあります。

近隣の高齢者施設や学級閉鎖等でインフル. が猛威を振るい大流行中。まず**人込みを避けることは勿論、うがい・手洗い・マスクに加えて歯磨き等による口腔ケアも感染予防対策**として推奨されています。

★後発地震 避難勧告に対して「まず避難」最優先

防災グッズ・个人防护具・常備薬も忘れずに

8 日午後 11 時 15 分頃 青森県八戸市で震度 6 強の地震があり、気象庁は**地震の規模がより大きな「後発地震」**が起きる可能性が相対的に高まったとして、「**北海道・三陸沖後発地震注意情報**」を運用開始後、初めて発表しました。

避難勧告が出た場合まず「**避難!**」。寒冷時期でもあり、避難時には**防災グッズ**（防寒具・下着・帽子等）や **PPE 个人防护具**（感染症対策マスク・消毒液等）や**飲料水・常備薬等も一緒に持参することが大切**である。BCP（事業継続計画）が言われて久しいが、特に 要援護虚弱高齢者を預かる施設では、いつどこで何が起こるか分からない災害に対して、**人命救助をプライオリティーとして、日常から避難経路を確認**しておくことが大切です。

★ノーベル化学賞 北川進 京都大特別教授 記念講演で

中国の思想家 荘子の「無用の用」という考え方を紹介

ノーベル化学賞を受賞した北川 進 京都大特別教授がストックホルム大での記念講演で、**中国の思想家、荘子の「無用の用」という考え方を紹介**。荘子外篇の「山木篇」で有名な「無用の用」を示す寓話の中に、“役に立つが ゆえに伐られる木もあれば、役に立たないからこそ 長く生きられる木もある”という一節を引用。荘子は しばしば『役に立つものは利用され、消耗される』『役に立たないものは自由を保つ』という 逆説を通し価値の再定義を示した。教授の「世の中に無用のものなど存在しない」という言葉は、**荘子の核心を現在科学の文脈で再発見した。きわめて美しい継承**です。その荘子の考え方を研究に活かし、石炭や石油に代わる空気を利用した金属有機構造体(MOF)を開発した。欧米人には理解しにくい考え方は？と感じるが、日本人には響く言葉である。

★明石市文教厚生常任委員会と明石市保健福祉施設協会

“介護業界の問題点について”意見交換会

11月25日明石市文教厚生常任委員会（正木 克幸委員長）の市会議員（7名）と明石市保健福祉施設協会（小松 達也会長）の会長・副会長施設職員（むつみ荘・恵泉・清華苑 各3名）が“介護業界の問題点について”意見交換会を行った。むつみ荘は「物価高騰による施設経営の難しさ」「ケアマネジャーの高齢化」「介護職員の不足」「感染症対策への大きな負担」の4課題について発表した。

誰もが 高齢となり活用を余儀なくされる要援護高齢者施設であり、**安定した運営が存続**できるよう **是非 明石市単独で可能な援助・協力**をお願いしたいものです。

あゝこれか「無用」のサイン 椅子の裏

我が歳 サバ読むうちに 曖昧に

かくし芸 発表する場なく 忘れ

令和7年 聖夜

(文責 MMY)



お知らせ



休業

期間：12月31日(水)～1月4日(日)

※ 年末は12月30日まで、年始は1月5日(月)より通常営業

事業所：通所リハビリテーション(デイケア)、あさぎり在宅介護支援センター、
おおくら在宅介護支援センター、デイサービスセンターこころ

面会 & 外出

面会：通常通り 16:15～17:00

**外出：市内でインフル警報レベル継続中の為
中止 とさせていただきます。**

良いお年を

お迎え下さい



— 職員一同 —